



# Be creative!



## 自分を救ってくれるもの

2024年度進路の手引き一巻頭言より

立場柄、いわゆる巻頭言的な文章を求められることが多い。しかしながら、おそらく自分がそういう人間なので、いつも「読んでもらえないだろうな。」なんて思いながら書いている。だからと言って、いい加減な思いで書いたことは一度もない。その時その時の自分が伝えたいことを精一杯考えて書いてきた。だから、そんな文章のかけらを少しでも拾ってやりたいという思いが強く、二度三度といろいろなところに登場させて、読まない自分を顧みることなく、なんとかみんなに読んでもらいたいと思ってしまふようだ。2024年度の「高校生活の手引き」の巻頭言は入学式の式辞の中に再登場させた。「校長室だより6月号」に、今年度の「進路の手引き」の巻頭言を再登場させることをお許し願いたい。実際に読んでくださり、声をかけてくださった先生がいた。心からお礼を言いたい。その先生にお礼を伝える思いを込めて、今月の「校長室だより」を発行する。もちろん、自分自身への反省も込めて。

先生、言葉をかけてくださり、ありがとう。

### 『2024 年度進路の手引き』より一

「大丈夫。今の自分を必ず未来の自分が救ってくれる。」

寝ながらラジオを聴くのが好きである。5月5日、子どもの日の深夜に流れていたラジオから聴こえてきたフレーズ。若い皆さんには何を言っているのか、およそわからないだろう。また、私がどんなにうまく説明できたとしても、意味するところのものは皆さんにはおよそ実感としては



わからないであろう。しかしながら、やはり伝えたい。「大丈夫。今の自分を必ず未来の自分が救ってくれる。」

どんな人間も数々の失敗、それぞれ「顔から火が出るような」赤っ恥や、忸怩たる思い、劣等感を抱いて大人になる。私にとって高校時代は衝撃だった。田舎町に住む世間知らずが名古屋の真ん中の高校に飛び込む。劣等感は輪をかけて大きくなっていった。国語の時間、同級生が先生に意見を求められて「彼のシュールリアリズムが・・・」と意見をのたまうた。「何を言った？」地理の時間のしょっぱな、「東京からニューヨークはどちらの方角にある？」聞かれた同級生は「東南です」「北」「・・・北東ですかね。」「私はこの教室の東西すらわからんよ。世界史の時間、年間計画が1枚配布され、先生は一言。「好きなものを選びなさい。」何のために？「演習だよ。君たちが授業をやるんだよ。」なんですと！

世界史の先生は将に世界史を愛していた。その先生の前でどうして授業ができよう。「一番と最後は避けよう、1学期もいやだ。」夏休みをまたぐために、私は「孫文の三民主義」を選んだ。最初の授業者を選んだ勇者とも言うべき同級生は、この先生の世界史愛にコテンパンにやられることになる。「こんな目にあうのはいやだ！」私はしばらく、孫文とともに歩む日々を過ごしたのである。求める資料を探し回った。今のようにインターネットはなかった。思うようなものが見つからず、散々探したあげく、姉が別の高校で使っていた資料集の中に求めるものはあった。「ここにいたのかい！」資料に語りかけた自分を思い出す。滑稽だ。

合わせて、残念ながら私はひねくれていた。劣等感だけならまだしも、それがひねくれるわけである。この世界史の発表を先生は誉めてくれた。きっと、心の底から。しかしながら、私は、その先生の言葉に、にこりとせせず、ひたすら斜め横の方向を見ていたように思う。「私の気持ちも知らずに、呑気なこと言うな。」そう心の中でくだを巻いていた。

50年たってもこの時のことはよく覚えている。もっと素直であつたら、私の人生も少し変わっていたのかなと考える。

大人になってわかる。そうだ、あんたの気持ちなんて先生が知るはずも、理解できるはずもない。でも、先生は誉めてくれたのではないか。あんたの発表を客観的に見て、それを誉めてくれたのであれば、こんなにうれしいことはない。姉の資料集の中に、探し求めていたものを見つけたあの時の感覚は 50 年たっても忘れない。今、やっと、あの時の自分を認めてやりたいと思っている。至らなさはあつつも、高校生としてよく頑張った。孫文と過ごした夏は貴重だったじゃないか。校舎の廊下にたたずむ16歳の自分の肩をそっとたたいてあげたい。そうだよ、君は頑張った。

一生懸命でありさえすれば、すべてのことは自分の血となり、肉となる。失敗も、後悔も、しきりもむだになることは何もない。今はわからなくとも、わかる 때가やってくる。未来の自分がきっと未熟な今の自分を救ってくれるはずだ。そのためにも、君たちは自分の足で歩き続けねばならぬ。少し先を歩く私たちは、君たちの足元をやさしく照らす存在となりたいものだと思ふ。

## School Life Topics



### ★部活動頑張る！



野球部の活躍はすでに前回の「校長室だより」でお知らせをいたしました。この5月・6月も部活動の活躍が続きます。硬式テニスの部門では県大会ベスト8！活動を始めて2年目の快挙です。陸上部では、3年生小川心優さんが400mで東海大会出場を決めました。昨年の成果を引き継ぎ、ぜひ、インターハイ出場の権利獲得を目指して頑張ってください。サッカー部は昨年に続き、インターハイ予選ベスト4！6月1日(土)の準決勝では惜しくも負けてしまいましたが、次のステージに期待が持てる大会でもありました。我慢を重ね、粘る姿が花開く時を楽しみに待ちたいと思います。和太鼓部と吹奏楽部は **2024** 年度全国総文祭に出場します。先日、美浜町八谷町長にもご挨拶に伺いました。



夏に向けて活動が本格的に始まります！頑張りましょう！



街角ニュース  
 ○総文祭出場を報告 7月8日に岐阜県で開かれる全国高校総合文化祭に出場する日本福祉大付属高(美浜町)の吹奏楽部と和太鼓部の各部長が24日、町役場を訪れ、八谷充則町長に意気込みを語った。写真。吹奏楽部は初めて、和太鼓部は33度目の出場。吹奏楽部の3年金田朱莉さん(17)は「17」の成果を十分に発揮できるようにこれからも練習に励む。和太鼓部の3年吉川奏楽さん(17)は「同じ曲でも代りやすい演奏ができた」と話した。



### ★姉妹校シラインステイテュート校卒業式にメッセージを送りました。

Congratulations to Silay Institute's Senior High School Graduates of Batch 2024! Last summer, I had the opportunity to visit the Philippines with six of my students. Although it was my first visit in four years, it was a wonderful experience. The students were a little awkward at first, but they were in tears when they said goodbye. It was an exchange program filled with kindness and love from everyone. I

would like to say thank you for this precious opportunity.

We, from Nihon Fukushi University Affiliated High School, have always been supported by your close friendship. We have also been learning from your school, teachers, and students. I would like to extend my congratulations on your graduation. I know you studied hard, and I respect all of you. Your graduation will be just the first of many proud and successful moments. I can't wait to see your future. Our prayers go with you, and we know it will be a bright one!

I am sending you the words of the famous physicist Dr. Hawking. These are also my favorite words:

"However difficult life may seem, there is always something you can do and succeed at. Look up at the stars and not down at your feet. Try to make sense of what you see, and wonder what makes the universe exist.

Be curious."

Once again, congratulations and best wishes for your future endeavors!

Sa liwat, Congratulations sa inyo pag-graduate!

Madamo gid nga salamat!



Nihon Fukushi University  
Affiliated High School  
Principal: Kikue Yamaguchi

## ★今年も探究活動が始まる！GFSⅡ

### Key word は「Ownership」

2年生の総合進学コースにおけるGFSⅡの取り組みで、今年も探究の活動が始まります。例年通り、地元美浜町役場から課題をいただき、共に取り組む4つのコース(ごみ問題・観光の課題・防災における家庭内備蓄の課題・若者の選挙に関わる課題)に合わせ、今年カンボジアとつながりながらの国際連携探究学習も進めていきます。カンボジアとのつながりは今年で3年目を迎えますが、2024年度・2025年度の2年間、パナソニック教育財団における



特別研究指定校として活動を進めていくことをきっかけとして、これまでグローバル英語コースを中心に取り組んでいた内容を、総合進学コースの学びに位置付け、取り組んでいくこととします。ローカルな課題もグローバルな課題も、深めていけば、必ずどこかでつながりを持ってきます。お互いに違う課題を追い求めながら、共通項の課題や問題が見えてくると面白いですね。皆さんの探究活動が、縦に横に柔軟につながり合わせるものとして展開をしていってくださることを期待しています。Key word となる

のは「Ownership」です。課題を「自分ごと」としていくことが、探究活動を豊かに推進していく重要な鍵となります。ぜひとも皆さんの英知を結集させてください。

